

「生活者としての外国人」に対する
日本語教育の標準的なカリキュラム案

教材例集
(抜粋)

平成24年1月31日

文化審議会国語分科会



<目次>

1. はじめに	1ページ
1.1 地域における日本語教育で大切なこと	1ページ
1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法	1ページ
1.3 教材例集の構成	4ページ
2. 教材例（※教材例は、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案（以下、「カリキュラム案」という。）から抜粋し、作成しているものであり、カリキュラム案で示した生活上の行為の事例の全てについて作成しているものではない。なお、「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」は除いてある。）	
I 健康・安全に暮らす	
01 健康を保つ	
(01) 医療機関で治療を受ける	7ページ
(02) 薬を利用する	22ページ
(03) 健康に気を付ける	40ページ
02 安全を守る	
(04) 事故に備え、対応する	45ページ
(05) 災害に備え、対応する(地震)	55ページ
(05) 災害に備え、対応する(火事)	72ページ
II 住居を確保・維持する	
04 住環境を整える	
(07) 住居を管理する	83ページ
III 消費活動を行う	
05 物品購入・サービスを利用する	
(08) 物品購入・サービスを利用する	92ページ
06 お金を管理する	
(09) 金融機関を利用する	106ページ
IV 目的地に移動する	
07 公共交通機関を利用する	
(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する	116ページ
(11) タクシーを利用する	132ページ
08 自力で移動する	
(12) 徒歩で移動する	144ページ
VII 人とかかわる	
14 他者との関係を円滑にする	
(31) 人と付き合う	154ページ
VIII 社会の一員となる	
15 地域・社会のルール・マナーを守る	
(33) 住民としての手続をする	168ページ
(34) 住民としてのマナーを守る	179ページ
16 地域社会に参加する	
(35) 地域社会に参加する	189ページ
IX 自身を豊かにする	
20 余暇を楽しむ	
(44) 余暇を楽しむ	204ページ
X 情報を収集・発信する	
21 通信する	
(45) 郵便・宅配便を利用する	217ページ
(46) インターネットを利用する	228ページ
(47) 電話・ファクシミリを利用する	239ページ
3. 参考資料	
3.1 教材例集を作成する際に活用及び参考にした資料・ホームページ等	251ページ
3.2 生活上の行為の事例と能力記述	254ページ

1. はじめに

1.1 地域における日本語教育で大切なこと

日本では平成2年に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正以来、地域で暮らす外国人が増加しました。この2年、外国人の数は減少傾向にありますが、それでも依然200万人を超えています。特に最近では外国人の定住化傾向が進んでいることから、「生活者としての外国人」の側面に焦点を当てた日本語教育を実施することが求められています。そこで日本語教育小委員会において、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標を以下のように整理しました。

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになること

【目標】

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

上記の目的、目標を達成するための日本語の教育内容の検討と学習機会提供のための仕組みを整備することが求められています。地域で暮らす外国人は日本語学習に対するレディネス(すでに日本語学習をどの程度行っているか等)、学習適性、学習環境、在留資格、生活課題などの面において多様性があり、多様な日本語学習のニーズが存在します。そのため、日本語教育を実施する際にも、上記の目的・目標を踏まえた上で、学習者の状況やニーズを把握し、それに沿った形で日本語教育を行うこと、さらに地域住民とのつながりや社会参加を目指すようなプログラム設計や体制作りを行い、実施することが大切です。

1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法

1.2.1 教材例集の趣旨について

教材例集は「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案について(以下、「カリキュラム案」という。)を基に作成しています。

カリキュラム案とは、各地域で実施する日本語教育の具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となるものであり、外国人が来日して、生活の基盤を形成する上で必要不可欠であると考えられる生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目・要素、関連する社会・文化的な情報などから構成されてい

ます。カリキュラム案は、各都道府県、市町村における日本語教育担当者、各地域において日本語教育のコーディネーター的役割を果たす人に活用されることを想定しています。また、コーディネーターがカリキュラム案を活用する際の参考として「「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」(以下、「ガイドブック」という。)を作成し、今回、さらに教室活動を行う際の教材について検討する際の参考として本教材例集を作成しました。

「生活者としての外国人」に対する日本語教育は地域の実情・学習者の状況が様々であるため、的確に状況を把握し、地域・学習者のニーズに合わせた形で実施することが必要となります。その手順については、3ページで示しています(※詳細はガイドブック参照)。

教材を中心に教室活動を考えるのではなく、あくまでも地域の実情・学習者の状況に合わせた日本語教育を行うため、地域の実情・学習者の状況に合わせて本教材例集に工夫を行い、日本語教育に取り組んでください。この教材例集は「生活者としての外国人」に対する日本語教育について、その在り方を具体的な教材例の形で示したものであり、他の教材の使用を否定するものではありません。地域の実情や学習者の日本語のレディネスに合わせて、より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことを期待しています。また、地域や外国人の状況によっては「生活上の行為が日本語でできるようになる」ための活動よりも、「地域交流や居場所作り、人と人とのつながり作り」を進めることが必要な場合もあります。地域や外国人の状況、必要とされる日本語教育の形に合わせて、教材例集を活用し、地域住民とのつながりや外国人の社会参加に役立ててください。

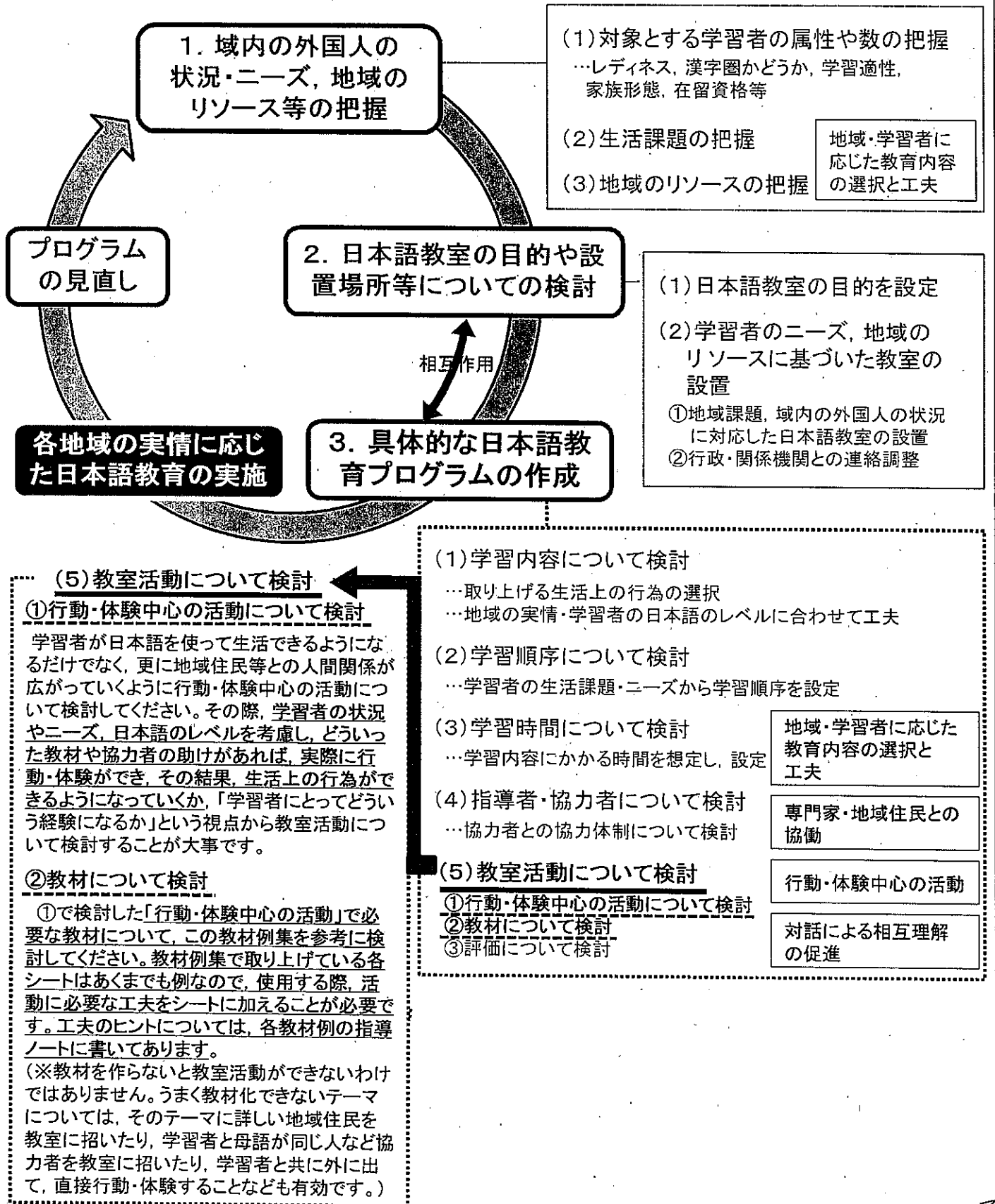
また、この教材例集は、日本語の文法や知識に関する学習を中心に据えたものではなく、生活上の行為ができるようになることを目的として作成しています。そのため、「初級、中級、上級」といった日本語のレベルに着目し、文法や日本語の構造に関する知識を積み上げていく形を取っていません。何らかの助けがあれば、日本語を使って生活上の行為は行えるということ、レベルに応じてできる形で生活上の行為ができるようになればよいということを前提としているためです。また、現実的に、日本語が上手になるまでの間も地域で生活をする存在であるという「生活者としての外国人」を考えているからです。来日後、間もない外国人が、日本語が上手であるかどうかにかかわらず、地域社会の中で生活するということを考え、生活上の行為ができるようになること及び自分の基本的な情報を伝え、基本的な人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指しています。

1.2.2 期待される活用方法について

個々の「教材例」は、そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではありません。地域の実情、学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり、多言語情報を活用したり母語話者を活用し

日本語教育プログラムの作成手順における教材の位置付けについて

(※ガイドブック 7ページより。赤字部分は教材に関する部分。)



たりする等、工夫を行うことが必要となります。

学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ、それに対応させた内容に加工していくことが重要です。また、教材例集の(01)から順番に使う必要もありません。学習者の状況、ニーズ等を見ながら、必要な部分を選択して使用することが大切です。

また、その際、ガイドブックの4ページにあるように、「地域・学習者に応じた教育内容の選択と工夫」、「専門家・地域住民との協働」、「行動・体験中心の活動」、「対話による相互理解の促進」を意識したプログラムを作成し、それに合わせた教材を作成してください。

また、この教材例集では「指導者」、「協力者」という言葉を次のように使っています。

指導者…日本語教室で学習者に日本語を教える、あるいは教室活動を中心的に行う人のこと。

協力者…地域住民や学習者の母語が分かる人や外国人のことを指し、教室活動に協力してくれる人のこと。

指導者だけでなく、多様な人が教室活動に参加し、教室活動を通じて人間関係を広げていくことが学習者の地域社会への参加の助けとなると同時に、地域住民が外国人の置かれている状況や外国人とのコミュニケーションについて学ぶよい機会となります。協力者として教室活動に参加してくれる人は地域により異なりますが、適宜、地域の状況に合わせて日本語教育プログラムを企画してください。なお、本教材例集は文化庁ホームページからダウンロードすることが可能です。

1.3 教材例集の構成

1.3.1 教材例集の内容

教材例集はカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例(12~13 ページ)から、分野が偏らないように生活上の行為の事例を選択し、作成した教材の例をまとめたものです。教材例集で取り上げていることを学べば、生活上の基盤が形成されるというわけではありません。また、全ての「生活者としての外国人」に必要なものではないということで「V 子育て・教育を行う」と「VI 働く」を除いていますが、各地域に

¹ 本教材例集に掲載しているイラスト・写真は、日本語教育用の教材を作成する場合に限り、出典を明記の上、御利用いただくことが可能です。出典は本教材例ではなく、本教材例で個々のイラスト・写真について示しているURLとなります。イラスト・写真の使用に当たり、使用料は発生しません。

ただし、本教材例集に転載した写真・イラストを再利用して、営利目的で教材を作成する場合は、それぞれのイラスト・写真の著作権所有者に連絡を行い、使用条件や使用料等について確認を行う必要がありますので御注意ください。(転載元のURLが示されていないイラスト・写真の著作権は文化庁が有します。)また、著作権所有者の同意なく、イラスト・写真に修正・加工を加えたものを使用することはできません。

においては適宜必要に応じて教室活動に盛り込んでください。また、ここで取り上げていない生活上の行為の事例を含め、この教材例集を参考に各地域で教材作成が行われることを期待しています。

1.3.2 各シート内容及び使い方について

各教材例は、それぞれ1ページ目のシートで内容や取り上げる生活上の行為の事例、目標・ねらいなど、各教材例の概要を示しています。なお、生活上の行為の事例に付けている数字は、標準的なカリキュラム案と同じ数字を付しています。その後、具体的に教室活動で使用するシートとして「写真・イラストシート」「活動シート」「ことば・表現シート」「別表、参考資料等」「指導ノート」を付けています。

○写真・イラストシート

写真・イラストシートは、その教材例で取り上げる生活上の行為の事例をイメージできるような写真・イラストを取り上げています。

○活動シート

活動シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例ができるようになるための活動例を取り上げています。

○ことば・表現シート

ことば・表現シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例に関連することば・表現を取り上げています。全てを覚えなないといけないわけではありません。学習者の状況や地域の状況に応じて必要なものを必要なときに取り上げて使ってください。

○別表、参考資料等

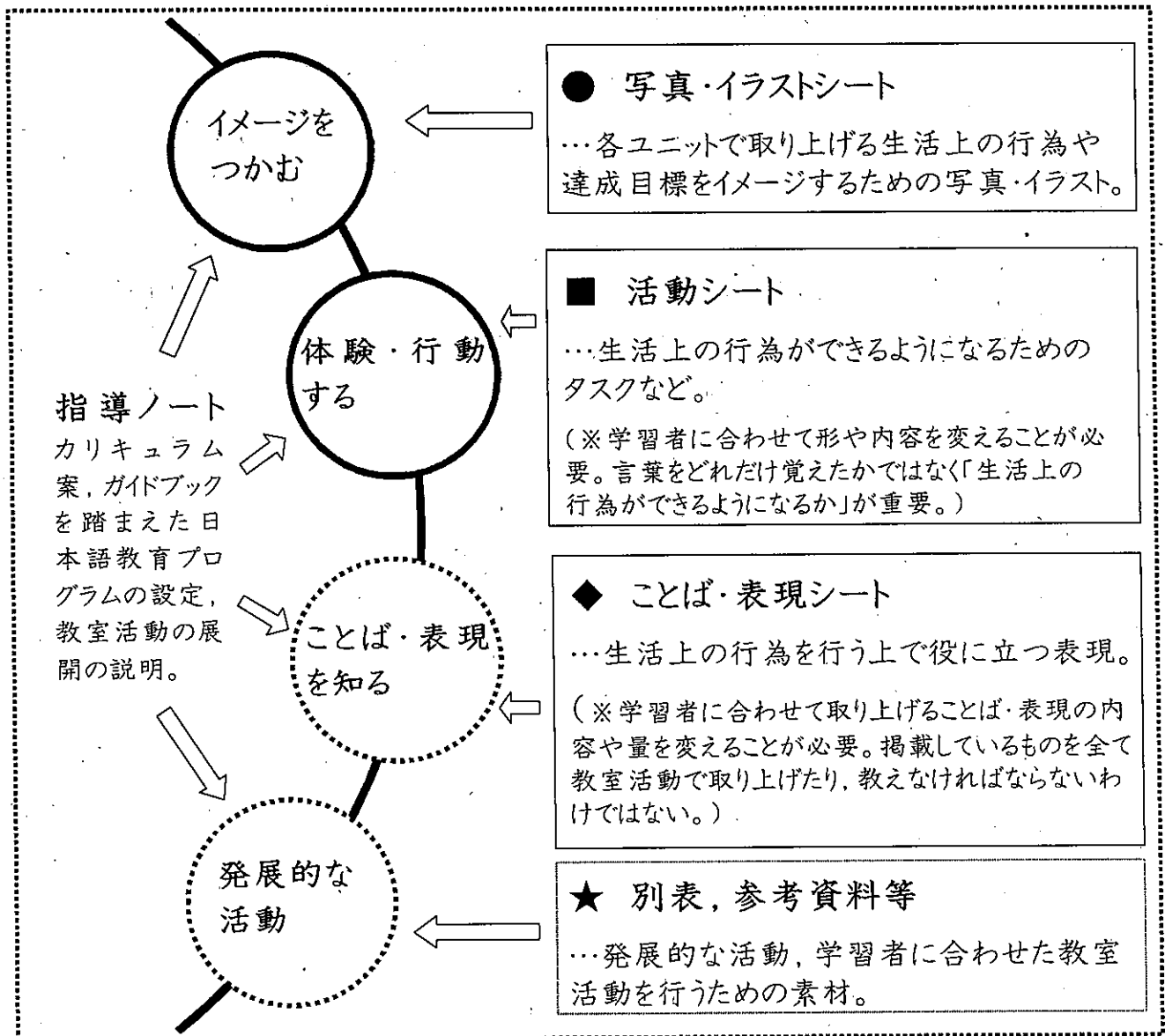
別表、参考資料等は、発展的な活動を行うときに、参考になるシートです。

○指導ノート

指導ノートは、その教材例の活用の仕方、修正の仕方など地域の状況や学習者の状況に合わせた教室活動を行う際のヒントをまとめています。

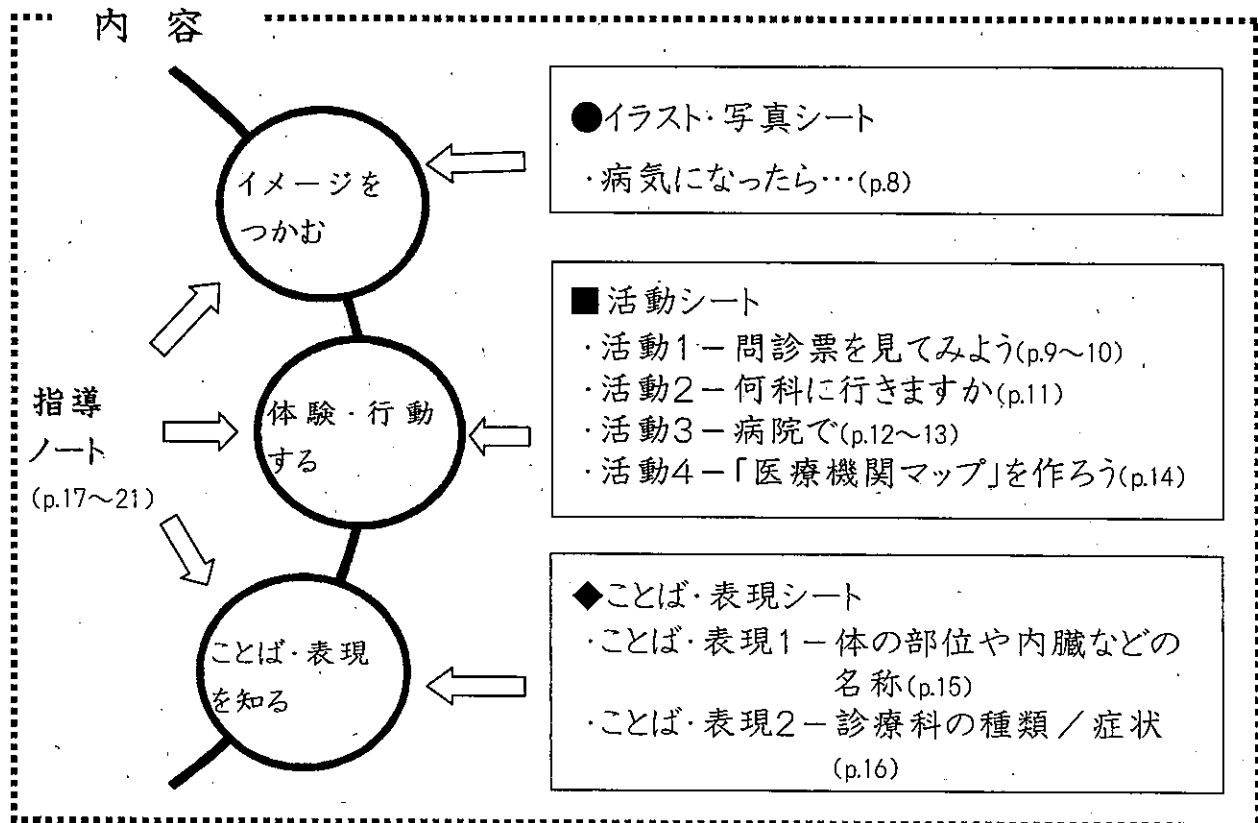
なお、各シートで取り上げる内容と全体の構成は次のページの図のようになります。

各教材例の構成の図



※●, ■, ◆, ★について, 各教材例の対応するシートにも同じ印を付けています。

いりょうきかん ちりょう う
 (01) 医療機関で治療を受ける



取り上げる生活上の行為の事例

(0102010)「初診受付で手続をする」

(0103010)「医者診察を受ける」

(0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

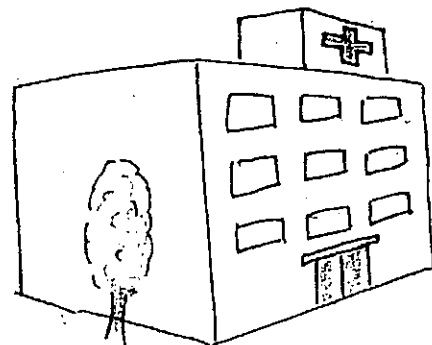
教室活動の目標

・病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる

教室活動のねらい

- ・症状を伝えることができる
- ・医者診察、指示が理解できる
- ・病気への対処法・生活上の注意を尋ねる
- ・病気への対処法・生活上の注意を理解できる
- ・地域での医療機関の活用について話し合うことができる

● 病気になったら…



■ かつどう もんしんひょう み
活動1 - 問診票を 見てみよう

INTERNAL MEDICINE

内科問診票

Check (✓) all corresponding answers.

year 年 month 月 day 日

Name 名前 Male 男 Female 女
 Date of birth 生年月日 ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日
 Address 住所 Phone 電話
 Do you have health insurance? 健康保険を持っていますか?
 No 無 Yes 有
 Nationality 国籍 Language 言葉

What is wrong with you? どうしましたか

<input type="checkbox"/> fever (_____) 熱がある	<input type="checkbox"/> headache 頭痛	<input type="checkbox"/> sore throat 喉が痛い
<input type="checkbox"/> cough 咳	<input type="checkbox"/> palpitation 心悸	<input type="checkbox"/> chest pain 胸痛
<input type="checkbox"/> rash 発疹	<input type="checkbox"/> dizziness めまい	<input type="checkbox"/> shortness of breath 息切れ
<input type="checkbox"/> swelling むくみ	<input type="checkbox"/> stomachache 胃痛	<input type="checkbox"/> tightness in chest 胸の圧迫感
<input type="checkbox"/> abdominal pain 腹痛	<input type="checkbox"/> excessive thirst 口渇	<input type="checkbox"/> high blood pressure 高血圧
<input type="checkbox"/> numbness しびれ	<input type="checkbox"/> loss of appetite 食欲不振	<input type="checkbox"/> weight loss 体重の減少
<input type="checkbox"/> abdomen feels swollen 腹が張っている感じ	<input type="checkbox"/> nausea 吐き気	<input type="checkbox"/> diarrhea 下痢
<input type="checkbox"/> vomiting 嘔吐	<input type="checkbox"/> feel heavy だるい	<input type="checkbox"/> tire easily 疲れやすい
<input type="checkbox"/> bloody stool 血便	<input type="checkbox"/> others その他	

* How long have you had problems? それはいつごろからですか
 Since ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日から

Have you ever been allergic to medication or food? 薬や食物等でアレルギーを生じたことがありますか
 No 無 Yes 有 → medication 薬 food 食物 others その他

Are you presently taking medication? 現在飲んでいる薬はありますか
 No 無
 Yes 有 → If you have any with you now, please show them to me. 持っていたら見せてください

Questions for women: 女性の方への質問です

* Are you pregnant or do you have a possibility of pregnancy?
 妊娠していますか、またはその可能性はありますか
 No いいえ Yes はい ____ months ヶ月

* Are you presently breastfeeding? 授乳中ですか
 No いいえ Yes はい

What illnesses have you had in the past? 過去にどのような病気をしましたか

<input type="checkbox"/> stomach and intestinal disorder 胃腸の病気	<input type="checkbox"/> liver disease 肝臓の病気
<input type="checkbox"/> heart disease 心臓の病気	<input type="checkbox"/> kidney disease 腎臓の病気
<input type="checkbox"/> diabetes 糖尿病	<input type="checkbox"/> asthma 喘息
<input type="checkbox"/> AIDS ニーズ	<input type="checkbox"/> thyroid problem 甲状腺の病気
<input type="checkbox"/> others その他	

* Has this disease been cured? その病気は治りましたか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had any operations? 手術を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had a blood transfusion? 輸血を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

produced by 医療交流センター 制作 by DIGITALUM project/Hiroshi M.

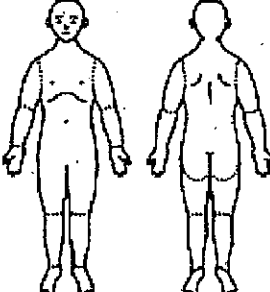
この問診票は、5日以内の返答を希望し、その際、必要に応じて、お電話やメールでのやり取りをお願いいたします。また、この問診票は、医療機関での診療にのみ使用されます。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

<http://www.hiroshi-on.com>

骨科问诊表
整形外科問診票

年 月 日

姓名 名前	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢
住址 住所	電話 電話	
是否持有健康保険証	健康保険を持っていますか <input type="checkbox"/> 有 はい <input type="checkbox"/> 没有 いいえ	
国籍		

<p>有何症状? どうしましたか (请在图上标出其位置) (その箇所に印をつけてください)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: left;"> <p><input type="checkbox"/>疼痛 痛み <input type="checkbox"/>外伤 けが <input type="checkbox"/>肿胀 腫れ <input type="checkbox"/>肿块 できもの <input type="checkbox"/>麻木 しびれ <input type="checkbox"/>扭伤 ひねった <input type="checkbox"/>其他 その他</p> </div> </div> <p>何时开始的? いつ頃からですか 月 日</p>	
<p>是否有药物或食物过敏史 薬や食物でアレルギーを生じることがありますか <input type="checkbox"/>无 いいえ <input type="checkbox"/>有 はい <input type="checkbox"/>药物 薬 <input type="checkbox"/>食物 食べ物 <input type="checkbox"/>其他 その他</p>	
<p>是否正在服药? 現在毎日飲んでいる薬がありますか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい 如隨身攜帶, 請給醫生看一下 持っていれば見てください</p>	
<p>請問女性患者 女性に聞きます 现在是否正在怀孕或可能怀孕 妊娠していますか、また可能性はありますか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい 几个月 何ヶ月 是否正在哺乳 授乳中ですか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい</p>	
<p>迄今为止曾患过何种疾病? 今までにかかった病気がありますか <input type="checkbox"/>腸胃病 胃腸の病気 <input type="checkbox"/>肝臓病 肝臓の病気 <input type="checkbox"/>心臓病 心臓の病気 <input type="checkbox"/>腎臓病 腎臓の病気 <input type="checkbox"/>結核病 結核 <input type="checkbox"/>高血圧 高血圧症 <input type="checkbox"/>糖尿病 <input type="checkbox"/>甲状腺疾患 甲状腺の病気 <input type="checkbox"/>哮喘 喘息 <input type="checkbox"/>艾滋病 エイズ <input type="checkbox"/>其他 その他</p>	
<p>所患疾病是否已治愈? その病気が治りましたか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい</p>	
<p>是否接受过手术治疗? 手術を受けたことがありますか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい</p>	
<p>是否接受过输血? 輸血を受けたことがありますか <input type="checkbox"/>否 いいえ <input type="checkbox"/>是 はい</p>	

■ 活動2 - 何科に 行きますか

○「多言語医療問診票」で、ことばを 確認(かくにん)しましょう。線(せん)で つなぎましょう。

どこへ 行きますか。

外科

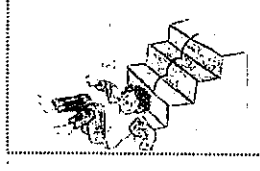
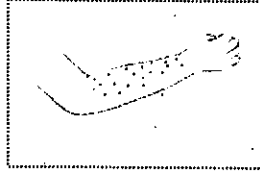
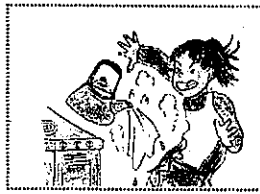
内科

小児科

産婦人科

皮膚科

整形外科



どうしましたか。

(a) 咳(せき)が 出(で)る

(b) やけど

(c) 発熱(はつねつ)
(熱(ねつ)が ある)

(d) めまいが する
(目(め)が まわる)

(e) 発疹(はっしん)が ある
(ブツブツが ある)

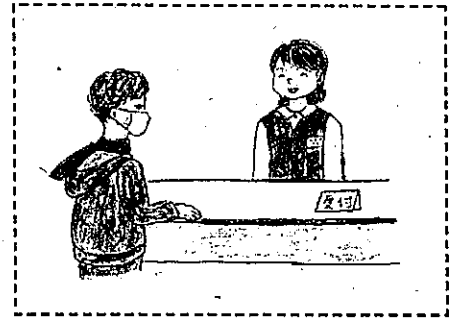
(f) 腰(こし)を 打(う)った
(打撲(だぼく)した)

(g) お腹(なか)が 痛(いた)い

■ 活動3-病院で

(1) 会話例1 (受付で)

A さん : あのう、初めて なんですが。
受付の人 : 初診(はつしん)ですね。こちらの 問診票(もんしんひょう)に
記入(きじゅう)してください。
A さん : (多言語(たげんご)医療問診票(いりょうもんしんひょう)を 渡(わた)しながら)
これ、書いてきました。



(2) 会話例2 (診察室で)

医師(いし) : どうしましたか。
A さん : (多言語(たげんご)医療問診票(いりょうもんしんひょう)を 見せながら)
昨日(きのう)から 頭(あたま)が 痛(いた)いんです。
熱(ねつ)が あります。
医師(いし) : 口(くち)を 大き(おお)く 開(あ)けてください。
かぜ(かぜ)ですね。5日(いつかぶん)分の 薬(くすり)を
出(だ)しておきます。

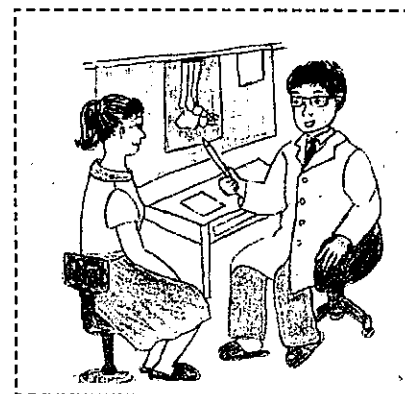


かいわれい しんさつしつ
(3) 会話例3 (診察室で)

い し 師 : どうしましたか。
B さん : (多言語医療問診票を見せながら)
ころ 転んで あしび いた
足首が 痛いんです。
い し 師 : ちょっと 見せてください。
B さん : ことです。
い し 師 : 少し はれていますね。
レントゲンを 撮りましょう。
B さん : はい。



い し 師 : (レントゲン写真を 見せながら)
ほね いじょう
骨に 異常は ありません。
ねんざですね。じっぷ薬を
だ 出しますから、はってください。
B さん : あのう、お風呂に 入っても
だいじょうぶ
大丈夫でしょうか。
い し 師 : 今日はお風呂に 入らないでください。
らいしゅう また き
来週 また 来てください。



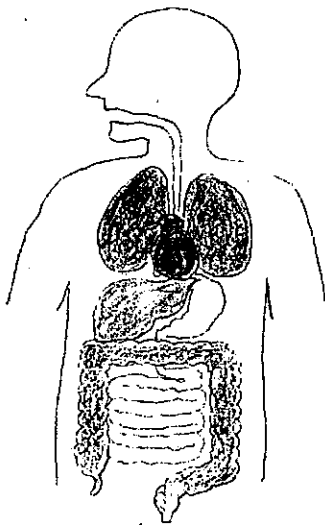
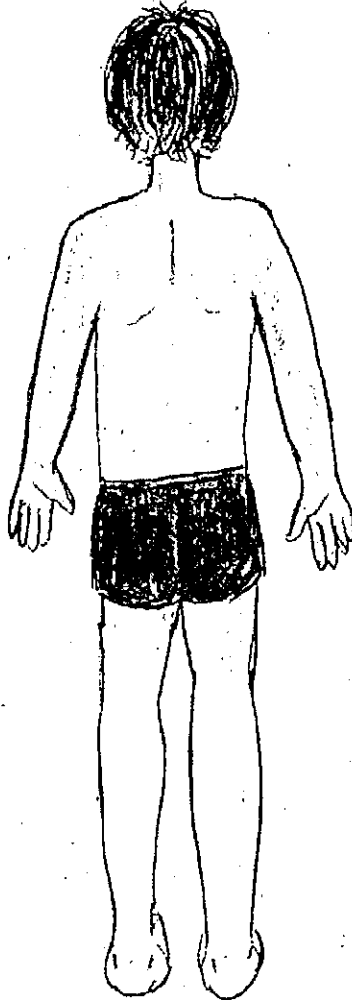
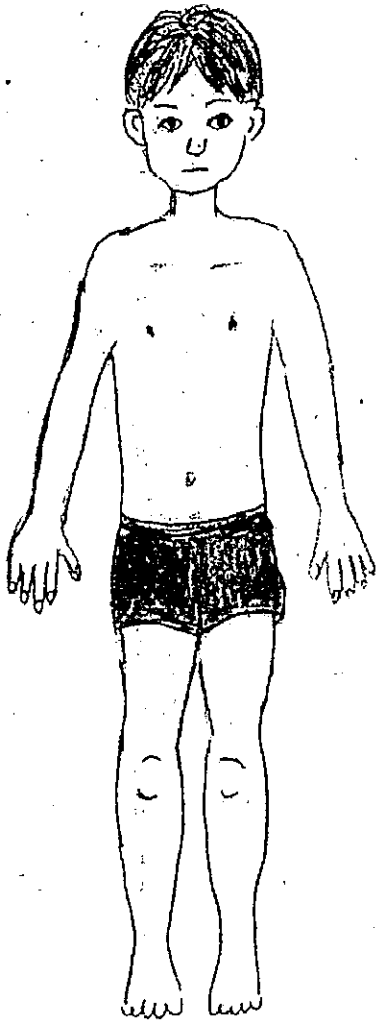
■ かつどう いりょうきかんまっぷ つく
活動4-「医療機関マップ」を作ろう

(1) みんなで まちの びょういん や いいん について 話(はな)しましょう。

- ・ どの びょういん・いいん に 行(い)ったことが ありますか。
- ・ ことばの さほーと がある びょういん は どこですか。
- ・ 多(た)げんご いりょうもんしんひょう が つか える びょういん は どこですか。

(2) 教室(きょうしつ)の 人(ひと)たちと 一(いっ)しょに まちの びょういん や いいん の じょうほう を あつめて、
ちず を つく 地図(ちず)を 作(つく)ってみましょう。

◆ ことば・表現^{ひょうげん}1-体^{からだ}の 部位^{ぶ い}や 内臓^{ないぞう}などの 名称^{めいしょう}



◆ ことば・表現^{ひょうげん}2－診療科^{しんりょうか}の種類^{しゅるい} / 症状^{しょうじょう}

(1) 診療科^{しんりょうか}の種類^{しゅるい}

- ・眼科(がんか)
- ・皮膚科(ひふか)
- ・外科(げか)
- ・脳神経外科(のうしんけいげか)
- ・産婦人科(さんふじんか)
- ・耳鼻咽喉科(じびいんこうか)
- ・内科(ないか)
- ・整形外科(せいけいげか)
- ・小児科(しょうにか)
- ・歯科(しか)

(2) 症状^{しょうじょう}

- ・頭が痛い(あたまがいたい)
- ・歯が痛い(はがいたい)
- ・喉が痛い(のどがいたい)
- ・くしゃみが出る(くしゃみがでる)
- ・鼻水が出る(はなみずがでる)
- ・鼻づまり(はなづまり)
- ・鼻がムズムズする(はながむずむずする)
- ・花粉症(かふんしょう)
- ・やけど
- ・捻挫(ねんざ)
- ・下痢(げり)
- ・熱がある(ねつがある)
- ・腰を打った(こしをうった)
- ・寒気がする(さむけがする)
- ・目が赤い(めがあかい)
- ・発疹がある(はっしんがある)
- ・かゆい
- ・食欲がない(しょくよくがない)
- ・吐く(はく) ・もどす ・嘔吐する(おうとする)
- ・気分が悪い(きぶんがわるい)
- ・出血がある(しゅっけつがある)
- ・頭痛(ずつう)
- ・歯痛(しつう)
- ・咳が出る(せきがでる)
- ・鼻血が出る(はなちがでる)
- ・鼻がつまる(はながつまる)
- ・発熱(はつねつ)
- ・打撲した(たぶくした)
- ・ブツブツがある(ぶつぶつがある)
- ・ムカムカする(むかむかする)
- ・めまいがする

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0102010)「初診受付で手続をする」
- (0103010)「医者診察を受ける」
- (0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標

- 病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる。

教室活動のねらい

- 症状を伝えることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- 医者診察, 指示が理解できる。(活動3)
- 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる。(活動3)
- 病気への対処法・生活上の注意を理解できる。(活動3)
- 地域での医療機関の活用について話し合うことができる(活動4)

活動前に確認しておくこと

- 学習者の居住地域の主要な病院の情報, 医療機関の種類
- 外国人診察に評判が高い診療所の情報
- 医療通訳サービスの情報
- 多言語医療問診票, 診療科目
- 受診の流れ, 医療保険制度など

準備する素材

- 学習者の母語で書かれた問診票
- 症状を表わす絵カード
- おもちゃの聴診器, 喉を照らすライト, 白衣など診療場面用の小道具
- 日本の医療に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・病気になったら…(p.8)

- ・「イラスト・写真シート」(p.8)を提示しながら、学習者に病気をした経験や、病院や医院で診察を受けた経験について尋ね、話してもらいます。どんな症状で、どの病院(医院)にかかったか、どんなふうに医者とコミュニケーションをしたかなどを話してもらえるように引き出します。

< 問いかけ例 >

「ここはどこですか。なにをしていますか。」

「どんなとき、病院に行きますか。」

「〇〇さんは、日本で病院に行ったことがありますか。」

「ひとりで行きましたか。」

「日本語でお医者さんと話をしましたか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1 - 問診票を見てみよう(p.9~p.10)

・多言語医療問診票の紹介

- ① 事前に多言語医療問診票のホームページから、学習者の母語の問診票(内科、小児科、整形外科、外科、耳鼻科、眼科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、歯科)をダウンロードし、配布できるように準備しておきます。

・多言語医療問診票 (NPO 法人国際交流ハーティ港南台 作成)

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/> 及び

<http://www.mmjp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm>

よりダウンロード可能(詳細は『カリキュラム案』p.113 参照)

- ② イラスト・写真シートで話を進めながら、「これを使ったことがありますか」と多言語医療問診票を提示し、学習者に配布します。

- ③ 内科, 小児科, 整形外科, 外科, 耳鼻科, 眼科, 皮膚科, 産婦人科, 脳神経外科, 歯科の問診票をそれぞれ参照しながら, 診療科の名前と意味を確認します。
- ④ 問診票はインターネットでダウンロードできることを伝え, URLを知らせておくでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－何科に行きますか(p.11)

- ・「何科に行きますか」の活動シートを使って, 症状の表現を確認します。
- ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② 指導者は活動シートの絵を指しながら, 学習者に「どこへ行きますか?」と問いかけて, まずはかかるべき診療科を学習者に特定してもらうよう促します(指導者は活動シートの絵を拡大コピーして1枚ずつカード状にして, 学習者に提示できるようにしておく, より進めやすいでしょう)。
 - ③ 学習者が診療科の問診票の多言語訳を参照しながら, 該当する症状の表現を見つけたら, 発音を確認しながら, 絵と, 症状の表現と, 診療科の名称を線で結んでもらうようにします。
 - ④ 活動シートでのマッチングが終わったあと, カードを使ってカルタ形式で, 症状の名前を言ってカードを取るゲームをしてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－病院で(p.12～13)

- ① 活動3の会話のデモンストレーションをします(指導者と学習者, あるいは, 教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらう形で)。
- ② 学習者は2人1組のペアになり, 会話例1・会話例2・会話例3を実演練習します。
- ③ 活動2の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し, 絵カード状にしたものを, 指導者は準備しておきます。これらのカードから, 学習者に1枚ひいてもらいます。

④ カードをひいた学習者は、カードに示された症状にあわせて、会話例1・会話例2・会話例3を適宜アレンジして、実演します。

- ・ おもちゃの聴診器，喉を照らす豆ライトなどを準備して小道具として使用するとよいでしょう。
- ・ 学習者のレベルに応じ，内容は調整してください。日本語がほとんどできない学習者の場合は，多言語医療問診票を使って，最低限のことを伝えることができる方法を優先して示してください。
- ・ 学習者に，自分でどう表現したらよいかわからなかった症状，医師に言われたけれどよく理解できなかったことなどを聞いてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動4-「医療機関マップ」を作ろう(p.14)

教室に参加している学習者，指導者(および可能であれば協力者も含め)で，地域の病院や医院について情報を出し合い，地域の「医療機関マップ」の作成を試みる。

- ① 学習者に，行ったことのある病院・医院の名前を挙げてもらい，そのときの体験を語ってもらいながら，その機関の特徴や，多言語サポート状況等をリストアップしていく。
- ② まちの地図にそれぞれの医療機関の場所を示し，適宜情報も加えたシートを作成する。この地図を改訂して充実させていくことを，教室全体のプロジェクトとしてもよい。日本人の協力者が外国人に対する医療サービスの状況を知り，状況の改善の方法について共に考え行動していくきっかけとしていくことも考えられる。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

- ・ことば・表現1-体の部位や内臓などの名称(p.15)
- ・ことば・表現2-診療科の種類/症状(p.16)

・体の部位や内臓の名称は診察時に，症状を訴える時に必要なことばです。絵を見せて，学習者が必要なことばを与えるといいでしょう。ことばに慣れたら，次に，

p.xx の症状の表現とともに学習するといいでしょう。

- ・ 多言語医療問診票は診療科目によって、各々あります。診療科目の名前と意味を確認させてください。症状によって、どの診療科を選択するか考えさせて活動2を行います。
- ・ 問診票を見せて、学習者がわからないことばを聞いてきたら、意味とともに確認するとよいでしょう。

【参考情報】

医療機関

[医院・診療所・クリニック]

地域の小規模な病院。具合が悪くなったら、まずここに行きましょう。

[総合病院]

複数の診療科がある大きな病院。

受診の流れ

医療機関によって違いますので、大体の参考にしてください。歯科など予約制の医療機関もありますが、当日の受付順での診察が多いです。

	医院・診療所・クリニック	総合病院
初診SAY	①受付で保険証(→P.25)を出して、「初めて」だと言います。 ②問診票を書きます。分からないときは「日本語が分かりません」と言ってください。 ③待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。 ④名前を呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。	①総合受付で、診療申込書に必要事項を書いて、保険証と一緒に出します。 ②受付順に名前が呼ばれます。カルテを受け取って、受診料の受付にカルテを出して、受診料の近くで待ちます。 ③問診票を書きます。 ④名前が呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。
再診SAY	①診察券(月が変わったら保険証も)を受付に出します。 ②待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。	①直接、受診する科へ行って、診察券(月が変わったら保険証も)を出します。総合受付に再診受付権があるときは、それで受付します。 ②受診料の近くで名前が呼ばれるのを待ちます。
診察SAYUP	①待合室に戻って待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。	①料金支払窓口(総合窓口と別のことがあります)で待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。

医療保険

	国民健康保険	健康保険
対象	日本に1年以上住む人	就労できる在留資格をもち会社などで働く人
手続	市区町村の役所です	会社が手続をします
保険料	全額自己負担	源泉徴収(50%は会社が負担します)
病気・けがのとき	本人と家族は3割の自己負担で治療が受けられます (3歳以上 → 2割 70歳以上75歳未満 → 1割)	仕事以外の病気・けがは左と同じです 仕事中の病気・けがは労災の対象です(→P.29)
高額医療費制度	1か月の医療費の自己負担額が高額になったときに、申請するとその一部が後日払い戻されます	
その他	保険証が交付されます	